



昭和38年7月30日印刷
昭和38年8月1日発行

奈良市民だより (第76号)

発行所 奈良市役所
編集兼発行人 秘書課長 宮武一二三
印刷所 共同印刷工業株式会社

奈良市の人口

(昭和38年6月末)

世帯数 35,962

人口 143,478

(男69,305 女74,173)

昭和38年度予算総額は 33億1525万9千円 土木行政に重点を置いて 道路の整備を急ぐ

まえがき

本年は市長及び市議会議員の改選が行なわれた時期でありまして、4月末日がその選挙投票日に当っておりましたので、新年度の予算は新しく選ばれた責任者の手にゆだねることを建前といたしまして、当初4月から7月までは暫定の予算をもってまかなわれました。

さて6月定例の市議会におきまして年間予算が審議決定されたのでありますが、その予算編成の概要と昭和38年度における市政運営の主要なる方針等につきまして説明いたします。

これは専ら市長が市議会におきまして説明いたしました要旨に基づくものであります。

なおつけ加えますと本市の財政再建計画は昭和31年から始まっているのでありまして、その後7年を経過し、本年がその最終年度に当たっているであります。本年度にいたりますまでに元利合計2億7426万円にのぼる財政再建債の年次償還をどこおきなく決済して参りまして本年度中に財政再建を完了し健全財政団体となることを期待されております。

予算の総額を大きく区別しますと
一般会計 18億9150万円
特別会計

千円	
下水道事業費	189,944
文化観光施設整備事業費	11,900
国民健康保険	193,063
母子福祉資金貸付金	1,174
公益質屋費	5,220
と場費	120
水道事業	592,559
宅地造成事業	449,779

となっておりまして、一般会計の総額を経費別に大別して見ますと

人件費	6億5571万円
投資的経費	4億2213万6千円
公債費	1億1426万5千円
生活扶助費	1億4000万円
他会計繰出金	9508万7千円
その他の経費	4億6430万2千円

となっておりまして、これに対する財源、すなわち歳入の内容は、自主財源とする市税等の収入は総額の67.29%を占め、他に依存する財源である国、県の支出金等による収入は32.71%に当るのであります。

さて市が行ないます事業は専ら上に掲げました経費のうち投資的経費として計上されております4億2213万6千円でまかなわれるのでありますが、経費の具体的な内訳を示しますと左表のとおりであります。

さて歳出予算の内容について申し上げますが、これは本年度における市政の運営を基本的な方向づけるものでありまして、又施策の規模を決定づけるものであります。

市長の市政方針の要点 まづ土木行政を 第一に

従来は学校児童生徒の数が急激に

増加しておりまして、いろいろの面でそれに対応して教育施設の整備に迫られて参りました。従って教育行政に専ら力が注がれて来たのでありまして、道路の整備等については、ややもすればその必要を認めつつも遅れ勝ちに過ぎて来たことは避け難いことでありましたが、今日ではこれに反する学校の整備もほぼ完了いたしましたので、特に本年度より土木行政に最も意を用いることといたしました。

科目	事業名	事業費
市役所費	奈良工業高校建設負担金	2,300
消防費	消防施設整備費	4,080
土木費	道路改良費	15,000
	舗装新設事業費	3,600
	県道舗装負担金	8,762
	道路防じん処理費	3,500
	橋梁架換事業費	3,500
	河川堤防改修費	8,000
	過年度公共土木費	8,497
	災害復興公共土木費	1,050
	災害復興公共土木費	600
	現年度単独土木費	5,000
	災害復興土木費	57,509
都市計画費	奈良坂道線踏切撤去事業費	68,000
	登大路大森線踏切撤去事業費	7,500
	大森尼ヶ辻線踏切撤去事業費	18,000
	県庁前踏切撤去負担金	2,500
	旧二条富雄線踏切撤去事業費	4,500
	総合運動場整備費	6,500
	都市下水路布設事業費	12,400
	計	119,400
	学校用地購入費	5,322
	教育財産整備費	16,833

・教育に関する施策については

学校施設の整備改善につきましてはすでに述べましたように児童生徒の急増に伴ない過去の各年度におきまして常に施策の重点となつてまいりましたので、着々としてその実を結びつつあります。現在におきましても財政困難の中ではありますが引

不順な梅雨期のおとに、暑い日が続いておりましたが、まことにしのぎ難いこととございます。市民各位におかれましてはどうか一層ご自愛下さいまして、益々ご健勝ご多幸のほどお祈りいたします。なお平素は市政各方面にわたりまして種々協力願っておりますことを有難く感謝いたします。昭和三十八年盛夏 市長 宮武一二三

続いて小、中学校合わせて十校に及ぶ校舎の新築或いは改築の事業がすでに着手されております。もちろんこれには関係の地元、育友会等の積極的な協力を得ておりますことは感謝の外はありません。

東市小学校舎の火災復旧費及び屋内体育館建設事業費の総額は2300万円でありまして前年度との差額1420万円が本年度の予算にのぼっております。

これによりまして本年度内に成る可く早く工事を完了いたすことになっております。

次に父兄の負担軽減という点をも配慮いたしまして、各学校費についてもかなりの増額を講じられてい

又社会教育の方面におきましては最近の社会の事情に深く思いをいたしまして、学校教育に続く社会教育実践の必要性を考え特に社会教育の場としての公民館施設の充実をはかりました。これがため紀寺町にありました旧日赤病院の施設跡を借り受けるとし、ここに教育委員会事務局を移転するとともに、施設の大部分を公民館活動の場所として提供いたします。

一条高等学校の校舎改築事業は昭和36年度から年次継続にて鉄筋送り改築を加えてまいりまして、いよいよ本年度は第三期の工程にかかることになりましたが、これが完了いたしますと普通教室16、特別教室10、管理諸室13その他附属施設が新しく整備いたしまして、市立唯一の高校として申し分のない設備を整えることとなるのであります。

生活保護基準が本年度から17%引き上げられることになりました。現在保護世帯は1100、保護人員は2200人でありまして、傾向としては漸次減少しております。

・社会福祉と厚生労働については

生活保護基準が本年度から17%引き上げられることになりました。現在保護世帯は1100、保護人員は2200人でありまして、傾向としては

学校建設分担金	3,733
教育施設整備事業費	4,550
本年支出額	9,000
文教施設整備事業費	23,500
本年支出額	14,200
一条高校改築事業費	5,596
東市小学校舎火災復旧費並に屋内体育館建設事業費本年支出額	1,000
都立小学校プール新設事業費	84,088
都立幼稚園プール新設事業費	103,900
小学校給食室新築事業費	2,000
計	105,900
失業対策事業費	7,600
環境改善事業費	10,000
計	17,600
清掃施設整備費	4,250
ごみ処理場建設事業費	15,143
本年支出額	5,116
市有財産整備費	3,750
公営住宅建設事業費	3,000
第2種公営住宅建設事業費	31,259
市庁舎増築事業費	422,136
市教育委員会事務局庁舎整備事業費	
計	

然し就労人員は残念ながら減少を期待し得ない見通しであります。又4月より基準賃金(全国平均)が日額436円から469円に上げられました。なお10月1日には失業対策事業法が改正されることになっております。

・保健衛生の推進

一般の市民生活につながる市政の各方面において、特に保健衛生の問題はまことに深い関心がもたれるのであります。

小児マヒをはじめその他各種の法定伝染病の予防対策に特に力を傾ぎ又健康管理のために無料健康診断を励行いたします。

殊に市民生活の環境を清潔で衛生的なものにすることは重要なことでありまして、関係諸機関の協力を得、自治会を初め市民の各団体等全市を挙げて実践活動を行なっております。奈良を静かに美しくする運動の効果を、直接行政の面においても推進させてゆく方針のもとに昨年から清掃車輛の整備に意を用いてまいりました。

もちろん年々拡大してゆく清掃地域を考慮合わせまして本年度におきましても引続いて車輛の充実に努め、三輪ダンプ3台、中型四輪車1台、小型ブルドーザー1台、処理場用三輪ダンプ1台を新しく購入いたします。又処理場における当面の作業用設備の効率化のためベルトコンベアー装置を施します。

次に現在の高橋ゴミ焼却場の焼却能力は、今後人口が急速に増加することを見通して現在のままでは到底完全消化を期することが出来ませんことと、その位置におきましては敷地の拡充も望み難いという見地から新たに高速堆肥化装置によるゴミ処理場を建設することといたしております。その全体事業費の予定額は9932万4千円でありまして、この事業の全体計画は一応二ヶ年の継続事業となります。

又かねてから市民の方々に色々ご心配をかけ、問題とされて来まして「屎尿」処理につきましては、下水道終末処理場の屎尿処理施設もようやく本格的処理にかかってくるようになりました。つきましてはこの際市民の皆さんの声に充分お応え出来るよう「汲み取りから終末処理まで」を一貫して処理する方策をたてると言う見地から、現在では民間企業として営業されている屎尿処理について関係業者の方々と充分意見を交換し、市と専門業者との共同投資による公社の組織を新しく設立する方針であります。

当市の行政には更に以上申し上げた外になお幾多の方面がありまして、産業経済に対する施策、農業の振興、商工業の発展策、工場誘致の促進対策、住宅、観光施設の誘致、等数え上げても限りがありません。

又都市計画に関する施策も重大なる関心でありまして、さきに投資的経費の内容を表示いたしました中にも都市計画費は1億円を超えているのであります。

大森一ヶ辻線踏切もようやく完成しまして阪奈道路より市街地への進入、国道24号線への直結で交通混乱は大いに緩和されました。重要幹線踏切も進捗いたしております。種々の困難はありますが極力その完工を急ぎ本年度中には北風呂町まで延長することになっております。

これは更に南に延びて八軒町において循環道路に連結する運びであります。取敢えず杉ヶ町を西に折れて国道24号線に結び早急の利用に供する予定であります。

消防関係や奈良市史の編纂その他についても色々申し上げたいと存じますが、いづれ又次の機会にゆずりたいと思います。

よろず心配ごとの相談は

家庭のもめごと、生活相談、身土相談
何でもご相談にお越し下さい。
毎週月曜から金曜まで 午前9時～午後4時
奈良市心配ごと相談所
市西本通八軒町(八軒町バス停留所)

市民相談日は毎月旺に

みなさんの生活につながる市政の各方面にわたって、何なりとご相談に応じます。
相談にお越しの方は 市役所正面玄関受付へ申出て下さい。
(秘書課広報係)

行政苦情の相談には

国や役所や公社公庫のしている 仕事についての苦情相談は
下記の行政苦情相談協力委員に申出て下さい
・下御門町21 白井 明
・中院町8 信貴 順治

「奈良を静かに美しくする運動」 をすすめるための

写真コンクール入賞者

東京オリンピックの開催も近づいて参りました。国土を美しくする運動をはじめ各地で都市や町を明るく美しくする住民運動の呼びかけが唱えられています。

奈良では一昨昭和36年11月各界各方面の協力によって「奈良を静かに美しくする運動協議会」が発足いたしました。静かな美しい町づくりに努めて参りました。

さてさきに5月末日締め切りました写真コンクールの作品募集もこの美しい町づくりの推進を願って行なわれましたが、写真愛好家の関心と共鳴を反映して大阪を初め近畿各府県よりも多数の作品が応募され総数498点にのぼりました。

審査の結果次のみなさんが入賞されましたのでここに発表いたします。

・特賞（奈良静美会長賞）
奈良市 藤井 保子

・金賞（奈良県知事賞）
大和高田市 杉田 幸作
（奈良県警本部長賞）
五条市 津村紀恵子

・銀賞（奈良市長賞）
奈良市 丹羽 市郎
（奈良警察署長賞）
奈良市 喜多 稔

・銅賞（朝日新聞社賞）
大阪市 山田 和男
（読売新聞社賞）
奈良市 北村 孟

（産業経済新聞社賞）
大阪市 上田 良子
（日本経済新聞社賞）
奈良市 喜蔵 忠明

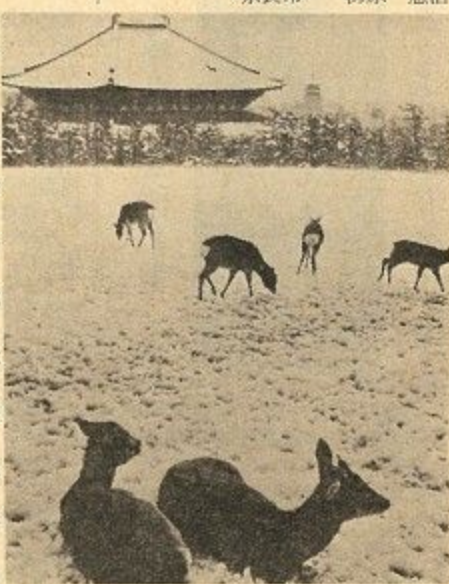
（中部日本新聞社賞）
奈良市 梅谷 勝有
（共同通信社賞）
奈良市 森中 房三

（時事通信社賞）
大阪市 浅田 豊稔
（NHK賞）
奈良市 米山 政治

（大和タイムス社賞）
奈良市 辻本 祥恵
奈良市 宮本 欣哉

・入賞
奈良市 植久保久一
奈良市 森 健怡
大阪市 松本字一郎
奈良市 喜多 稔
奈良市 喜多佐和子
大和郡山市 原条 健男
奈良市 福田庄之助

大阪市 前田 一男
五条市 津村 和男
大阪市 山下 章
奈良市 小林 正敏
岸和田市 山岡 武雄
奈良市 藤原 長夫
奈良市 池田 精宏
奈良市 山内 一郎
奈良市 杉本 正徳
大阪市 林田 幸夫
北葛城郡香芝町 小原 竜雄
奈良市 梅田 子子
大阪市 金子 幸夫
五条市 山本 久満
奈良市 山本 章正
奈良市 樋下 和雄
奈良市 柳原 憲治



（写真）特賞「雪景」藤井保子作

市民の声から

先日次のような文面の投書が市役所にまいりました。

もちろん毎日まいります市民の声は投書や電話であつたり、或いは直接本人が市役所に来られて色々伝えられますが、ここにかかげるのはその一つの例であります。投書された方の気持ちを尊重しますと共に市民の方々の一すしたご協力がどんなに市政の運営、発展の上に力強い役割を果たすものであるかをご理解下さいまして、今後とも住みやすい奈良の町づくりにお力添えをお願いいたします。

さてこの投書によりますと……

「（前文略）板の切れはしや紙箱は焼くこともできますが、ガラスや瀬戸物の破片は焼くこともできず、ごみ収集もしてくれませんがその処理に困っております。これらは収集物の対象にならないのでしょうか。危険なガラスや瀬戸物の破片を道路や溝川にすてないよう心掛けても市で積極的に処理して下さらないと町の美化も空しいかけ声に終るのではないのでしょうか……」

お答え

市ではみなさんの家庭からでるご

みを一切取り集めることに致しておりますが、容器からあふれてまきちらされているような時はすっきり取り集めるわけには参りません。

どうかみなさんの一すしたご協力によりましてごみ取り作業が手ぎわよくはかどり、とどろこおしく行うことができますように希望いたします。

ごみ収集作業には一層努力いたしますから、ごみを出されるみなさん方におかれましては作業員の立場をご理解下さいましてできるだけ協力をお願いいたします。例えば……

・ごみ箱は整頓して、ごみは山の様に盛らないように出して下さるよう

・ガラス、瀬戸物の類は紙箱などに集めてくって置いて下さるよう

・ぬれたものや特にひどい汚物などはビニール袋などに包んで下さるよう

× × ×

いろいろの場合にいろいろの事情があると思いますが、要はみなさんのご協力によりましてごみ取り作業が完全に行なわれ、町の環境が益々とのえられて参りますことを希望いたします。

8月15日は全国戦没者追悼式

正午には全国民が「黙とう」を

軍人軍属はもとより動員学徒、徴用工、さらに一般市民を含めて内外地を通じて戦争の犠牲となって死

没した国民の数は約300万の多きにのぼっています。国では8月15日を全国戦没者追悼の日と定め、本年は第1回追悼式を東京日比谷において行なうことにいたしておりますが、当日は全国津々浦々において国民がひとしく正午を期して「黙とう」を捧げ、平和の礎となった戦没者を心から追悼することが望まれています。

戦没者等の妻に対する特別給付金が支給されます

昭和38年法律第61号をもって公布され、4月1日施行になりました「戦没者等の妻に対する特別給付金」は次のとおり支給されますので該当者の方々は書類をととのえ市役所援護年金課へ申出て下さい。

▲該当者は……

昭和12年7月7日以後に、戦争によって戦死或は公務上負傷又は病氣にかかり、これにより死亡した者の妻であつて、昭和38年4月1日現在において次にかかげる給付を受けているもの又は受ける権利を有するもの。

(1)旧軍人（旧準軍人を含む）、旧軍属（旧準軍属を含む）にかかる公務扶助料、特例扶助料、遺族年金、特例遺族年金、遺族給与金

(2)もとの陸軍又は海軍の雇傭人で戦争公務のため死亡した者にかかる旧令共済殉職年金

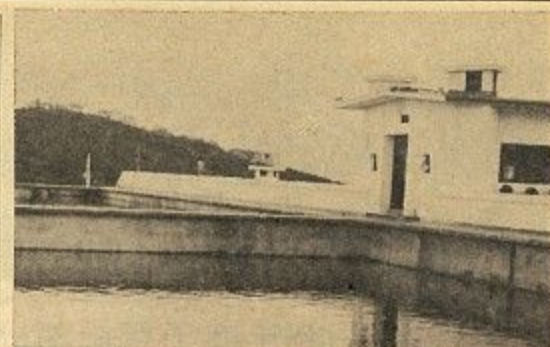
(3)もとの陸軍又は海軍の雇傭人で郵政省共済組合、国鉄共済組合、日本電信電話公社共済組合から支給される殉職年金

▲特別給付金は……

20万円の国債で、10年間で支払われる。

▲請求期間は……

昭和38年8月1日から昭和41年



市民の水を確保する 緑ヶ丘浄水場

去る7月2日通水式を挙行いたしました。給水を開始しました緑ヶ丘浄水場（奈良阪町立石）は都市計画事業として内申中の奈良国際文化観光都市建設計画水利施設自然流下式導水事業の一環をなすものであります。

上水道の需要に対して給水の万全を期するために本事業に先だって、第一次事業として計画された浄水施設でありまして今回完成したのはその2分の1です。この浄水場の活動により既設浄水場の実効能力と合せて1日54,000m³（約30万石）までの浄水を供給することが可能となりました。なお昨年度の最大配水量は1日41,600m³でありました。

〔写真〕緑ヶ丘浄水場……向うの山腹に見えるのは三笠温泉郷

奈良市消防援護会の昭和37年度収支決算を総会にかえ、ここに報告いたします。

昭和38年2月9日

奈良市消防援護会

会長 小山 恭二

会 員 各 位

昭和37年度

歳入歳出決算書

歳入合計	766,775円
歳出合計	760,033円
差引残額	6,742円

（昭和38年度繰越金）

歳入決算内訳書

歳入総額	766,775円
1. 昭和37年度会費	761,700円
2. 昭和36年度よりの繰越金	3,644円
3. 予金利子	1,431円

会費の内訳

地区別	予算額	決算額	予算に対する比較		備 考
			増	減	
樺 井	100,550	100,550	—	—	
飛 鳥	111,770	111,990	220	—	
鼓 阪	88,980	66,660	—	22,320	
済 美	127,760	117,440	—	10,320	
佐 保	149,390	143,350	—	6,040	
大 宮	84,920	84,950	30	—	
都 跡	51,280	51,280	—	—	
東 市	31,270	31,270	—	—	
大 安	18,880	19,000	120	—	
平 城	35,200	35,210	10	—	
合 計	800,000	761,700	380	38,680	

歳出決算内訳（△印は減を示す）

科 目	節	予算額	決算額	比較	予算に対する増減額
1. 事業費		615,000	585,732	減	△ 29,268
	少年消防クラブ育成補助	10,000	7,200	△	△ 2,800
	成 養 講 習 補 助	60,000	59,200	△	△ 800
	団 運 営 補 助	100,000	100,000	—	—
	防 火 宣 伝 補 助	100,000	96,400	減	△ 3,600
	特別訓練警戒補助	100,000	94,600	△	△ 5,400
	表 彰 補 助	20,000	25,000	増	5,000
	福 利 厚 生 補 助	100,000	97,200	減	△ 2,800
	災 害 見 舞 補 助	10,000	0	△	△ 10,000
	火災原因調査補助	20,000	17,632	△	△ 2,368
	退 職 慰 勞 補 助	35,000	32,000	△	△ 3,000
	弔 慰 補 助	10,000	6,500	△	△ 3,500
	出 初 式 補 助	50,000	50,000	—	—
2. 事務費		185,000	174,301	減	△ 10,699
	地区消費費	80,000	76,170	減	△ 3,830
	消耗品費	30,000	29,439	△	△ 561
	会 議 費	70,000	68,692	△	△ 1,308
	雑 費	5,000	0	△	△ 5,000
3. 予備費		5,644	0	△	△ 5,644
	予 備 費	5,644	0	△	△ 5,644
歳 出 合 計		805,644	760,033	減	△ 45,611

新しく通称町名 ができました

行政事務を処理する便宜上、次のとおり新しく通称町名ができました
▲昭和38年6月1日から下図①の地域（福井町の一部）を「木葉師東町」と称します。

▲昭和38年7月1日から下図②の地域（二名町、中山町及び押熊町の各一部）を「登米が丘3.4.5丁目」と称します。

▲昭和38年7月1日から下図③の地域（六条西一、二丁目の一部）を「難宮ヶ丘町」「月見ヶ丘町」と称します。

（註）新通称町名設定地域を示す

